

2024年6月20日

株式会社三菱UFJ銀行

「九州半導体人材育成等コンソーシアム」へ参画

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 はんざわ じゅんいち 半沢 淳一、以下 当行）は、5月8日、半導体分野の人材を育成するための産学官組織「九州半導体人材育成等コンソーシアム（以下 本コンソーシアム）」へ参画しました。

当行は、半導体はデジタル社会を支える重要基盤であり、日本の経済安全保障にも直結する重要な戦略技術との認識から、これまで業界を取り巻く様々な課題に対する支援に積極的に取り組んでまいりました。

なかでも九州エリアは経済産業省が策定した半導体・デジタル産業戦略において、産業用先端半導体の世界拠点としてサプライチェーンの中核と位置づけられており、半導体業界だけでなく、関連するサプライチェーンや、地域経済活性化による地元企業等の投資需要拡大への期待がますます高まっています。

こうしたなか、経済産業省 九州経済産業局および一般社団法人九州半導体・デジタルイノベーション協議会は2022年3月、産学官で構成する本コンソーシアムを設立し、人材育成やサプライチェーンの強化、海外との産業交流促進に取り組んでいます。

当行は、2022年11月に次世代半導体研究開発プロジェクトを担うRapidus株式会社へ出資・参画し、また、本年4月には当行内の新組織である「半導体バリューチェーン推進室」を立ち上げる等、専門的知見の結集により半導体産業全体へ貢献する体制を強化しておりますが、こうした活動の一環として、九州エリアでも能動的・主導的な半導体業界への貢献を目指すべく本コンソーシアムへ参画する運びとなりました。

三菱UFJ銀行が有する産業知見やネットワーク、これまで培ったファイナンスに関するノウハウを最大限に活用することで、本コンソーシアムが目指す2030年の3つの姿「①だれもが『半導体は社会基盤の主人公である』とその価値を理解している九州」、「②だれもが『半導体を学ぶ楽しさ』に共感している九州」、「③半導体産業で働くことに『誇り』と『生き甲斐』を実感する九州」の実現に貢献してまいります。

【九州半導体人材育成等コンソーシアムの概要】

名称	九州半導体人材育成等コンソーシアム
設立	2022年3月29日
目的	1. 半導体人材の育成と確保 2. 企業間取引・サプライチェーンの強化 3. 海外との産業交流促進
構成機関	産業界、教育機関、行政機関、協力機関で構成（2024年2月27日現在104団体が参画）
参考 URL	https://www.kyushu.meti.go.jp/press/2203/220329_1.html

以 上